

(7) 大洲・喜多ブロック（大洲市、内子町）

～産地づくり～

既存の主力品目の野菜等のほか、当地域を代表する落葉果樹（キウイフルーツ、ぶどう、くり、かき等）の生産体制強化に加え、新たなマーケットの開拓など出口戦略を見据えた取組を進め、産地ブランド力の向上に努めます。また、適地適作を基本とし、省力化や集約化を積極的に推進し、収益性の高い品目導入や栽培技術の高位平準化を図り産地基盤を強化します。

～推進品目や産地づくりの方向～

○県内有数の野菜産地の維持・発展

1 きゅうり出荷期間の延長

【取組】

- ①夏越し栽培の重要ポイントである定植直後の管理を徹底
- ②台風対策のソルゴーや病害虫抑制の防虫ネットを推進
- ③栽培講習会以外に個別巡回を強化（延べ200戸）

【成果】

- ①高温対策・収穫延伸技術導入農家：51%
- ②防虫ネット導入率：90%、銀黒マルチ導入率：40%
- ③夏季出荷量：750t（前年比103%）

2 施設利用型高収益品目の生産安定

【取組】

- ①いちご育苗期における病気対策を重点的に指導
- ②難防除害虫ハダニ対策でIPM技術の導入
- ③いちご新規栽培を目指す若手農業者の育成
- ④国営事業で造成された優良農地を保全し、野菜への転作を推進

【成果】

- ①いちご出荷量：147t（前年比103%）
- ②ハダニ天敵の導入：6戸
- ③いちごでの新規就農：1戸
- ④中山間地域総合整備事業「内子地区」
農業用水利施設の老朽化対策等：145,000千円

3 高収益品目の産地化推進

【取組】

- ①主要品目（すいか・はくさい）の端境期を狙った高収益品目導入

【成果】

- ①西洋野菜「ラディッキオ」試行栽培：4名、1ha



きゅうりの病害虫調査



いちご苗の生育を確認



高収益品目ラディッキオ

○特色ある落葉果樹の産地力強化

1 シャインマスカット生産基盤強化と冬季販売の推進

【取組】

- ①開花異常症に対する耕種的対策の実施
- ②地元産直市での冬季シャインマスカット試験販売

【成果】

- ①支梗による房づくりで収量減を抑制
- ②高単価販売で認知度向上 ※出荷量1.1t（前年比 106%）

2 かきの早期出荷、高品質果実生産による産地力向上

【取組】

- ①刀根早生への環状剥皮・キュアリング推進、技術講習会の開催
- ②富有柿の輸出拡大

【成果】

- ①推進前と比べて初荷受日の前進を維持（9/13→9/8）
9月出荷量割合は高温の影響から前年度より低下（37→27%）
- ②香港への冷蔵富有の輸出継続（輸出量：2t（R3：2t））

3 キウイフルーツの生産基盤強化

【取組】

- ①かいよう病発生状況調査の実施及び発生・拡大防止対策の指導
- ②受粉作業の省力化推進

【成果】

- ①411園地を調査し、発生状況を把握・モニタリング
- ②液体受粉は47.0haで実施（R3：41.3ha）



冬のシャインマスカット



かきのせん定指導

～地域づくり～

高齢化が進む中、多様な担い手を育成・確保するため、関係機関が連携したサポートチームの活動を拡充し、新規就農研修や受入体制の充実・強化に取り組みます。荒廃農地の解消のため、農地中間管理機構との連携により、担い手農家や農業法人等への農地集積・集約化に向けたマッチング活動を強化します。

さらに、儲かる農業の実現に向け、中山間地域での基盤整備による農地の集約化で生産性を向上させ、省力化や高収益化を図るとともに、地域単位での営農承継を目的とした農業法人が中心となって地域農業の維持・発展を目指します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○就農サポート強化による新規就農者の確保・定着支援

1 就農支援・サポート活動

【取組】

- ①就農希望情報の共有や研修体制支援策検討
- ②個別巡回による技術・経営指導
- ③就農サポートチームによる就農後フォローアップ

【成果】

- ①③新規就農者：9人
- ②③就農計画終了後、2人が認定農業者に認定
- ②③就農計画目標達成度：77%

2 若手農業者育成支援

【取組】

- ①認定農業者・青年農業者に対するスキルアップ研修の実施
- ②青年農業者が取り組むスキルアップのためのプロジェクト活動の支援

【成果】

- ①・「儲かる農業交流セミナー」を開催（9/27）
・電動農機等の技術研修会を開催（12/6）
- ①②認定農業者・青年農業者合同研修会を開催（2/20）



新規就農者への技術指導



サポートチームで
支援策を協議

○担い手への農地集積による地域農業の体制づくり

1 荒廃農地再生・流動化の推進

【取組】

- ①市町との情報共有
- ②農業法人等へのマッチング活動
- ③モデル団地における荒廃農地再生活動
- ④葉たばこ廃作跡地利用協議

【成果】

- ①②ヤギ放牧による荒廃農地再生（池田団地135a）
- ③内子町青年農業者による荒廃農地再生活動（上高屋団地48a）
- ④葉たばこ廃作跡地に「夏秋きゅうり」と「ケール」等を導入

2 重点地区（野佐来）の活動支援

【取組】

- ①農業法人への運営支援
- ②高収益品目の試験栽培の実施
- ③生産基盤整備の実施と担い手への農地集積を推進
（農地中間管理機構関連農地整備事業「野佐来地区」
R4～7、A=7.4ha）

【成果】

- ①「消費税のインボイス制度」研修会の開催、機械化体系の推進
- ②秋ケール実証栽培30a、加工用シソ実証栽培20a
- ③・換地委員会等による農地整備事業推進
・区画整理測量設計業務及び換地業務を実施
（R4：27,880千円委託）



荒廃農地再生に向けた
除草作業



秋ケールの栽培実証

○鳥獣被害ゼロへ向けた取組

1 モデル集落での被害対策の徹底

【取組】

- ①地域体制づくりに向けた現状把握
- ②防護柵による「守り」、捕獲の「攻め」推進

【成果】

- ①・住民と連携した集落見回り（大洲市荒平）（11/10）
 - ・要注意箇所を記した鳥獣害対策マップ作成
- ②・防護柵設置管理講習会（大洲市出海）（9/2）
 - ・ICT捕獲罠の捕獲実証（内子町五百木）※イノシシ13頭捕獲



ICT捕獲罠の運用協議

○地域農産物を活用した6次産業化の定着

【取組】

- ①一次産業女子グループ活動の支援
- ②6次産業化取り組み志向農家の育成

【成果】

- ①・Instagram情報発信研修会（11/28）
 - ・えひめ・まつやま産業まつりの軽トラ市へ出展（11/26～27）
 - ・先進事例視察（1/23）
 - ・自主企画マルシェ開催（1/27）
- ②養蚕農家へのプランナーを交えた事業計画作成支援：1回



南予マルシェで販売

○農業生産活動の維持と集落機能強化、農村の防災・減災対策

【取組】

- ①日本型直接支払制度を活用し、農地等の保安全管理に地域ぐるみで取り組む共同活動を支援
- ②農業用ため池の方が一の決壊に備え、防災重点ため池を優先してハザードマップを作成

【成果】

- ①・多面的機能支払交付金
（大洲市8,524千円、内子町：17,511千円）
 - ・中山間地域等直接支払交付金
〔大洲市：53,776千円、56協定、371ha〕
〔内子町：67,395千円、61協定、554ha〕
- ②農業用ため池ハザードマップ作成
 - ・大洲市：6箇所



大洲産繭とシルクシャンプー



集落多面的機能活動

○県内有数の畜産産地の基盤強化

【取組】

- ①経営体質強化に資する補助事業等の活用を促進
- ②農家の環境保全・衛生管理の意識や技術向上
- ③飼料効率の向上、自給飼料生産拡大を推進
- ④畜産担い手に対する基本技術等の個別指導の実施

【成果】

- ①・畜舎等新技术導入補改修：2戸、新資材試験的導入：2資材
 - ・あかね和牛受精卵購入：17卵、雌子牛の保留：3頭
- ②畜産環境巡回指導の実施：36農家
- ③・飼料コスト低減のための機械導入6台、資材支援12戸
（資材：種子、ラップフィルム、ネット他）
 - ・自給飼料ヨトウ対策調査指導等の実施（農家3戸で調査継続）
 - ・飼料米、稲わらの利用（面積単位）
〔飼料米 R3：53.4ha⇒R4：59.1ha〕
〔稲わら R3：37.9ha⇒R4：34.0ha〕
- ④・個別農業簿記記帳指導の実施：指導回数 12回
 - ・酪連による農業簿記記帳講習会の実施：13回



あかね和牛母牛の改良推進



自給飼料増産等の技術指導

飼料イネ・飼料米等の利用推進